

# 漁港漁場月報

## 漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

平成22年10月15日発行  
毎月1回15日発行  
編集兼発行人 田中潤児  
社団法人 全国漁港漁場協会  
東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階  
電話 東京(5114)9981  
定価 1部 70円  
(会員の購読料は会費の中に含む)

## 2ポイント上昇の53%に

### 水産庁 漁村の汚水処理人口普及率

水産庁は平成21年度末の漁村における汚水処理人口普及率をこのほど調査し、普及率は1年間で2ポイント上昇し、53%となった。

指定された漁港の背後に位置する人口5000人以下の4648集落の漁村において実施。漁村における汚水処理は、各都道府県が策定した「都道府県構想」に基づき、集落排水施設、公共下水道、浄化槽等により担いつつ進めている。

普及率は1年間で2ポイント上昇し、53%。汚水処理人口は、20年度末から3.4万人増加し125万人となった。

また、21年度末の漁業集落排水施設による処理人口は、20年度末から0.4万人増の17.4万人となり、全体のシェアは

### 農水大臣は筒井氏と篠原氏

#### 副大臣は筒井氏と篠原氏

菅改造内閣の発足に伴い、新しい農水大臣及び副大臣に鹿野道彦氏が就任した。昭和17年1月24日生まれ68歳。衆議院議員10期。農水大臣、総務庁長官、新党みらい代表、農林大臣、民主党代表、衆議院議員、山形県知事などを歴任。山形県立大学学長、山形県立大学学長、山形県立大学学長。



鹿野農水大臣

## 開催告知

### 第14回海岸シンポジウム

11月25日に開催  
全国海岸事業促進連合協議会(会長・磯部雅彦東京大学副学長)では、11月25日(木)午後1時から、農林水産省、国土交通省の後援のもと、東京都内のシーシーパッハサポ(1)砂防会館(船橋)で「第14回海岸シンポジウム」を開催する。

今回のシンポジウムのテーマは、「津波に備える」をテーマとし、知識と意識で、都司嘉宣(東京大学地震研究所准教授)による基調講演の後、11月25日(木)午後1時から、農林水産省、国土交通省の後援のもと、東京都内のシーシーパッハサポ(1)砂防会館(船橋)で「第14回海岸シンポジウム」を開催する。

今回のシンポジウムのテーマは、「津波に備える」をテーマとし、知識と意識で、都司嘉宣(東京大学地震研究所准教授)による基調講演の後、11月25日(木)午後1時から、農林水産省、国土交通省の後援のもと、東京都内のシーシーパッハサポ(1)砂防会館(船橋)で「第14回海岸シンポジウム」を開催する。

## 平成22年度総会等を開催 都市漁村交流推進協議



挨拶する堂故会長

9月21日(火)、都内の一モ二ホールにおいて、都市漁村交流推進協議会の平成22年度総会及び役員改選等が実施された。

役員改選等では、会長に堂故英樹(山形県水産課長)、副会長に深渡宏幸(千葉県漁業課長)、幹事に松本史郎(静岡県伊豆市)、監事に松本史郎(静岡県伊豆市)、監事に松本史郎(静岡県伊豆市)が選出された。

## 水産功績者に 大分県漁港協会の藤本会長

大日本水産会は平成22年度水産功績者として、大分県漁港協会会長の藤本昭三氏を選出している。

藤本氏は、大分県漁港協会会長の藤本昭三氏を選出している。

## 研修の実施

漁港漁場管理者研修会(後期)視察の実施

水産庁主催による「平成22年度漁港漁場管理者研修会(後期)」が12月2日(木)、小樽経済センターホール7階、大ホールにおいて開催される。これに伴い、北海道、北海道開発局の協力を得て、全国漁港漁場協会主催によるP・Bと漁船とを往

## 第2回理事会を開催

(社)全国漁港漁場協会

全国漁港漁場協会(社)は、9月27日午後1時から、本協会会館において第2回理事会を開催した。

議題は、①第62回全国漁港漁場協会(第63回)の開催、②水産資源の回復・増大と豊かな水産物を維持するための水産環境整備、③安全・安心で国際競争力のある水産物の安全供給を支える漁業の高品質生産管理対策と多様化対策、④地域資源を活かした漁村の6次産業化と生活環境の改善、⑤地域住民の生命・財産を保護する漁港、漁村及び海岸の防災・減災対策、⑥今後の事業計画について、⑦議案の次期大会開催地、⑧開会式、平成22年10月20日(土)の1号議案の第2回全国

## 水産功績者に 大分県漁港協会の藤本会長

大日本水産会は平成22年度水産功績者として、大分県漁港協会会長の藤本昭三氏を選出している。

藤本氏は、大分県漁港協会会長の藤本昭三氏を選出している。

役員会に引き続き、平成22年度総会を開催した。総会には、水産庁から本田直久漁港整備部長、村上邦宏都市漁村交流推進協議会会長、堂故英樹が出席した。

堂故会長は、都市漁村交流の取組が地域の活性化に結びつく、そのためには都市漁村交流推進協議会の会員が結束して息の長い継続的な活動を行うことに意義がある。会員である地域が主導となることにより、地域主権が国を変えていく、と開会挨拶した。

## 水産功績者に 大分県漁港協会の藤本会長

大日本水産会は平成22年度水産功績者として、大分県漁港協会会長の藤本昭三氏を選出している。

藤本氏は、大分県漁港協会会長の藤本昭三氏を選出している。

## 水産功績者に 大分県漁港協会の藤本会長

大日本水産会は平成22年度水産功績者として、大分県漁港協会会長の藤本昭三氏を選出している。

藤本氏は、大分県漁港協会会長の藤本昭三氏を選出している。

